

宍粟に似合う地域福祉を！

宍粟市社会福祉協議会では、3月27日の第11回評議員会において、平成21年度事業計画ならびに予算を可決しました。21年度事業のうち、いくつかの重点事業、新規事業を紹介します。

活動方針より

①第1次地域福祉推進計画の総仕上げと第2次計画の策定

平成21年度は第1次地域福祉推進計画の最終年次となります。計画推進委員会および評価委員会を開催し、第1次計画の総仕上げと第2次計画の策定にむけた準備を進めます。

②災害救援マニュアルに基づく諸活動の推進とマニュアルの見直し

大災害発生時、市内および近隣の市町が被災した場合の社協の救援活動を想定した災害救援マニ

ュルについて、災害発生時のコミュニケーションをとおり、マニュアルの見直し(更新)を図り、「減災」「自主防災」「災害に強い福祉コミュニティの構築」の大切さを地域福祉活動に生かす取り組みを進めます。あわせて、社協防災倉庫の配備を順次進めます。

③介護員養成研修の実施

ご利用者に対し、安定した介護サービスを提供するために、ケアワーカーの確保と質の向上が急務となっています。コミュニティワーク、およびケアワークの専門家を抱える社協にとって、宍粟市での人材育成は組織の使命として、今年度よ

り介護員(ホームヘルパー2級)養成研修に取り組みます。

④人材育成、資格取得、研修の充実及び職員内部研修プログラムの構築

職員の人事考課に基づき、必要な職員研修を積極的に行います。また、福祉や介護に関する本会職員の資格取得推進のために、社会福祉士や介護福祉士、介護支援専門員などの国家資格の取得を勧奨します。あわせて、地域福祉を学ぶ学生の、社会福祉士養成のために必要な社会福祉援助技術実習の受入れに対応するために、社会福祉士有資格者の指導者研修受講を勧めます。



原ささゆりの会の『居場所づくり事業』：
高齢者はもちろん、下校した子どもたちも集まってきます。

